



Standard
Chartered 

press release

2012年5月8日

スタンダードチャータード、 リバプール FC ユニフォームのスポンサーロゴを Seeing is Believing に

スタンダードチャータードは、回避可能な視覚障害の認知向上を目的とし、
本日の対チェルシー戦でリバプール FC ユニフォームのスポンサーロゴを変更

2012年5月8日 ロンドン・リバプール – リバプール FC のメインスポンサーを務めるスタンダードチャータード(本店:ロンドン CEO:ピーター・サンズ/在日支店:千代田区 CEO:クリストファー・ナイト)は、チームユニフォームの同行ロゴを Seeing is Believing のものに変更します。Seeing is Believing は、当行がグローバルで取り組んでいる、回避可能な視覚障害の撲滅に向けたチャリティ活動です。

リバプール FC が、自身にとってイングランド・プレミアリーグの今季最後のホームマッチとなるチェルシー戦でこの限定版ユニフォームを着用し、Seeing is Believing の国際的な認知を高めます。

リバプール FC が、チームの特徴である赤いユニフォームの前面にチャリティ活動のロゴを入れるのは歴代初のことです。この限定版ユニフォームに選手たちが試合後にサインをしたものを、スタンダードチャータードが広大なネットワークを通じて世界中のファンに提供し、Seeing is Believing のために募金活動を行います。募金された金額と同額を同行が合算し、その総額が Seeing is Believing プログラムに寄付されます。

スタンダードチャータード銀行グループ財務最高責任者兼 Seeing is Believing 議長のリチャード・メディングスは次のように述べています。「リバプール対チェルシー戦は、世界で数百万人が観戦します。今回の取り組みは、Seeing is Believing と回避可能な視覚障害の認知を高める素晴らしい機会になるでしょう。当行がリバプール FC のスポンサーになった当初から、理想的なパートナーシップが組めると確信していました。今となつてはそのスポンサーシップから、当行のチャリティ活動 Seeing is Believing とリバプール FC の間でも、このよう

な理想的な関係が生まれました。今回ユニフォームのロゴを交換することから得られたすべての資金は、恵まれない地域社会でのアイケアプロジェクトの実施に直接充てられます。簡単な治療や安価な手術により、治療を受けた子どもや大人、そしてその家族の生活をも変えることができます。」

世界中で 3,900 万人の方が視覚障害に苦しんでおり、10 人のうち 8 人の視覚障害は回避もしくは治療が可能なものです。そして、回避可能な視覚障害の約 90%は、発展途上国で発生しており、スタンダードチャータードが事業を展開するコミュニティの経済的生産性に影響を及ぼしています。例えば該当地域では白内障の手術は約 30 米ドルあれば可能であり、最も効果的な治療の 1 つであることから、スタンダードチャータード銀行が明確な影響をもたらすことができる問題として、回避可能な視覚障害の撲滅に取り組んでいます。

スタンダードチャータードがリバプール FC の公式メインスポンサーとなって以来、同行はクラブと協力し、Seeing is Believing や回避可能な視覚障害の認知向上に取り組んできました。昨年秋のワールドサイトデーにおけるコラボレーションや、同行が事業を展開するアジア・アフリカ・中東地域の市場で視覚障害のある子どもたち向けにサッカークリニックを実施してきました。また、リバプール FC も、視覚障害のある子ども向けにハーフタイムのプログラムを提供してきました。

リバプール FC マネージング・ディレクターのイアン・エアー氏は次のように述べています。「Seeing is Believing は素晴らしい活動です。そして今夜、リバプール FC のユニフォームを同活動の認知向上のために使用できることを私たちも非常に嬉しく思っています。スタンダードチャータードと共に世界中のファンが Seeing is Believing の取り組みを知り、この活動にあたたかい寄付をしていただけることを願います。」

試合後、以下のサイトから限定ユニフォームのオークションを実施します。www.ebay.co.uk/perfectmatch.

本件に関するお問い合わせは下記にて承ります。

スタンダードチャータード銀行
コーポレート・アフェアーズ部
Tel: 03-5511-1245/ Fax: 03-5511-9311
CA.japan@sc.com



スタンダードチャータードのリバプールFCスポンサーシップ

2009年9月14日、リバプールFCとスタンダードチャータード銀行は、同行が4年間にわたりクラブのメインスポンサーとなる契約締結を発表しました。2010年7月から2013-14年シーズン終了までのスポンサー契約期間中、リバプールFCのユニフォームにスタンダードチャータードの名前とロゴが掲示されます。本契約は、同クラブの歴史においても最大規模のものとなります。オフィシャルクラブスポンサーとして幅広い権限を享受することで、アジア、アフリカおよび中東地域の主要市場において当行のブランド認知度を大幅に向上する基盤を構築しています。

Seeing is Believing (視覚障害者支援プログラム)について

Seeing is Believingは、2003年に行員が中心となって回復可能な視覚障害の問題の意識を高め、募金を集めることを目的にグローバルな取り組みとしてスタートしました。すでに開発途上国の100万人の視覚回復に必要な募金を集め、視覚障害の問題に取り組んでいるNGOをサポートしてまいりました。現在は、2013年までに1000万米ドルの募金を集め、その同額を当行が寄付することにより、2000万米ドルの資金を集めることを目指しています。寄付金は視覚障害への治療、解決に向けた持続性のある活動 - 支援活動、啓蒙運動、眼鏡や手術などをサポートする基金として使用されます。

日本においては、2004年からアキレスインターナショナルジャパン視覚障害者を含めた障害をもつランナーと一般市民が共にランニングを楽しむためのグループ)とスポンサーシップ契約を結びました。アキレストラッククラブをサポートするとともに、視覚障害についての意識を高めることを目的に、メンバーと学校訪問をするなど、ともにパートナーとして、地域への貢献活動やSeeing is Believingの募金活動をしています。Seeing is Believingの詳細にはついては、以下のサイトからご覧ください。 <http://www.standardchartered.co.jp/media-centre/seeing-isbelieving/jp/index.html>

スタンダードチャータード銀行-アジア・アフリカ・中東地域における先駆者として

スタンダードチャータードはロンドン証券取引所、ムンバイ証券取引所、ならびに香港証券取引所に上場している国際的な金融グループです。世界で最もダイナミックな市場—アジア・アフリカ・中東地域において150年以上の歴史を誇り、グループの収益の約9割は、それらの地域で創出されています。また、世界70カ国以上で1,700余のオフィスを有する当行は、国際的なキャリア構築の機会を総勢87,000余名の行員に対して生み出しています。当行グループでは、長期的視野に立った持続性のある事業構築に取り組む傍ら、高いレベルでのコーポレートガバナンスを保持すると共に、社会的責任を果たし、環境保護と多様性のある人材育成にも力を注ぐことで、世界中の信頼を得ています。私たちのブランドプロミスである「Here for good」は、このような当行の伝統と企業価値を反映しています。

日本・アジア地域におけるスタンダードチャータード銀行について

日本におけるスタンダードチャータード銀行の歴史は、横浜にはじめての駐在員事務所を開設した1880年にさかのぼり、今年で132年目を迎えます。現在では、東京支店(千代田区・山王パークタワー)および丸の内支店(千代田区・岸本ビル)において約270名の従業員を擁しています。アジア・アフリカ・中東各地域で投資事業を展開する日本の企業法人・金融法人のお客様向けにホールセール、トレジャリー、トレードファイナンス等の金融サービスを提供するほか、2005年には個人のお客様向けに「プライオリティバンキング」部門を開設し、さらなる成長を続けています。

スタンダードチャータードのグローバルウェブサイト(英語): www.standardchartered.com

スタンダードチャータード銀行 在日支店ウェブサイト(日本語): www.standardchartered.co.jp

スタンダードチャータード銀行 在日支店ウェブサイト(英語): www.standardchartered.co.jp/index_english.html